
えんぴつ

Ratio

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

えんぴつ

【コード】

N9957F

【作者名】

R a t t i o

【あらすじ】

ある日、たかしは不思議なえんぴつを拾う。

ある日、学校から帰る途中、たかしはえんぴつを拾った。新品で、普通の物よりかなり長かった。

「ラッキー！もらっておこつー！」

たかしは家に帰り、自分の部屋の机に向かった。今日は学校で宿題が出ていたのだ。

「はあ…めんどくさいな…。…そつだ！早速さっきのえんぴつを使ってみよう！…あ、削らないとな…。」

たかしは机の引きだしからえんぴつ削りを出して削り始めた。

ガガガガガ

ガガガガガ

しばらく削ると、えんぴつの黒い芯は十分に尖った。

「うん、オツケー。よし…やるか。…今日の宿題難しいんだよな！」

たかしはえんぴつを手に、渋々書き始める。

カリカリ…

「…ん？」

カリカリ…

「な、なんだ？」

カリカリカリカリ

「わかる…。」

カリカリカリカリ

たかしは次々と問題を解いていく。

「わかる！わかるぞ！答えがわかる！」

普段は苦戦するはずの宿題も、そのえんぴつを使うと不思議とスラスラ解けた。

「まさか…このえんぴつ…。」

カリカリカリカリ

カリカリカリカリ

カリカリカリカリ

たかしはそのえんぴつを使って、すぐに宿題を終わらせた。

「どんな問題でも…解ける…！」

次の日。たかしはしっかりとそのえんぴつを持って学校に行った。どの問題も、そのえんぴつを持っているとすぐにわかった。

「（やっぱりそうだ…！このえんぴつがあればどんな問題でも解ける！もう勉強とはおさらばだ！）」

授業中、ノートを取っていると芯が折れた。

「あっ！折れちゃったよ…。えんぴつ削り持って来て良かったな。」

ガガガガガ

ガガガガガ

持ってきたえんぴつ削りでえんぴつを削る。芯はまた鋭く尖る。

その日の午後、体育の授業中。たかしは友人に話しかけられた。

「あ！おいたかし！」

「え？」

「見てみるよ！身長！」

「身長…？」

「ほら…前は俺のが少し小さかったろ？どつだ！！今は少し俺のが高い。」

そう言つて友人はたかしの前に立つ。確かにたかしが少し見上げる形になっている。

「うわ！本当だ！くつそー…ついこの前までは俺の方が高かったのに…。」

「へっへー！ざまあみる！」

「ちくしょー！すぐに抜かしてやるからな！！！」

そんなこともあり、たかしは少し落ち込み気味で家に帰つた。その日も宿題が出された。作文を書いてくる宿題だった。

「はあ…最近宿題多いよなあ…。あ、でも…このえんぴつ使えば…作文もいけるかな…？よし…やってみるか。」

カリカリ…

「…！」

たかしはどんどん原稿用紙を埋めていく。

「すごい…言葉が次々に浮かんでくる…！」

カリカリカリ
カリカリカリ

「止まらない…！何枚でもかけるぞ！」

カリカリカリ
カリカリカリ
カリカリカリ

たかしはどんどん原稿用紙に書き込んでいく。
次第にえんぴつの芯は丸くなる。

「あ…削らないと…。」

ガガガガガガ
ガガガガガガ

えんぴつは再び鋭くなる。

「よし！どんどん書こう！」

カリカリカリ
カリカリカリ

そんな調子で、たかしは何枚も作文を書いていった。

カリカリカリ
ガガガガガガ
カリカリカリ
ガガガガガガ

終わった頃には原稿用紙は何十枚にもなっていた。

「はあ…疲れた…。でも…これはかなりいい作文が出来たぞ…！
あ…えんぴつが…もうこんなに小さくなってしまった。明日からは
大事に使わなきゃ…。」
えんぴつは5センチほどまで縮まってしまった。

「よし…今日はもう寝よう…。」
たかしはえんぴつを机に置き、よほど疲れていたのか布団もひかずに
床に横になった。天井がやけに高い気がした。きつと目が疲れて
るんだろう。

「明日が楽しみだ！」

そのままたかしは床で眠った。

次の日。

「たかしー？もう朝よー！早くおきなさい！遅刻するわよ!？」
母はたかしの部屋に入ってきた。しかし、たかしの姿は見当たらない。
い。

「あら…あの子もう出て行ったのかしら。」
母親は部屋を見渡す。

「それにしても汚い部屋ね…掃除しましょ。」

母親は掃除機を持ち込み掃除を始めた。

ゴーーーーー

ゴーーーーー

掃除機は勢いよく吸い込んでいく。

ゴーーーーー

ゴーーーーー

「あじ。」

母親は机の上のものに気づく。

「このえんぴつ、すごく長いわね。」

ゴーーーーー

ゴーーーーー

ゴ
ミ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9957f/>

えんぴつ

2010年11月27日07時43分発行